学校番号	１１４

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年	１年
類型等	共通						
使用教科書	「改訂版　国語総合　　現代文編・古典編」　（数研出版）						
副教材等	高校国語入門標準　　最新国語便覧 意味から習得―音訓別―重要頻出漢字リアルマスター３３００ 新精選古典文法改訂版　　新精選古典文法演習ノート 必携新名説漢文～句法と語彙を一緒に学ぶ～　新名説漢文ノート～句法と語彙の定着を図る～ 現代文解法のテクニック１（基礎編）改訂版　　基礎古典大学入学共通テスト対策版 高校生のための現代思想ベーシックちくま評論入門改訂版 改訂版読み・解き・覚える日本文学史必携						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習上のポイントは以下の通りです。

現代文

① 本文中の漢字・語句の意味について、辞書で調べる。
② 文章全体の構成を意識して読み、主題を捉える。
③ 文学作品においては、状況設定・場面設定・登場人物の心情・人物設定について正確に把握する。
④ 文学作品の背景・時代状況等の歴史的意味と、文学史上の事実に関心を持ち読書に努める。

古　典（古文・漢文）

① 古語辞典・漢和辞典を活用し、予習・復習する。
② 重要語句・慣用的表現・文学史事項を理解する。
③ 古典文法をしっかり反復学習し、読解力につなげる。
④ 場面設定・登場人物設定を理解し、文構造・文章構成に注目しながら本文を読み進める。
⑤ 漢文訓読法（読み方）・基本句形を理解し、重要単語を覚える。

２　学習の到達目標

・論理的に考える力を身につける。
・言いたいことを正確に他者に伝える力を身につける。
・他者の言いたいことを正確に理解する力を身につける。
・過去の人物、外国の人物などからも学ぶ力を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	d:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・感想文の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出 ・感想文の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・感想文の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・感想文の提出 ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期（前半）	評論・随想	知の体力 水の東西 ネットが崩す公私の境	○	○	○	○	○	a:内容に興味・関心を持っている。また、随筆の特徴について考えようとしている。 b:本文の音読を通して、例示された内容を正確に読み取ったり、文章構成を把握し、全体の流れをとらえたりしている。 c:内容を正確にまとめている。 d:指示語の内容を理解している。 e：漢字や語句、文体の特色を理解したり、分かりにくい言葉・表現を辞書で調べたりしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査
一学期（後半）	小説	羅生門	○	○	○	○	○	a:登場人物を通して人間の普遍的な心理に興味関心を持っている。 b:本文の音読を通して、登場人物の行動と心理を理解している。 c:自分が感じたことを感想文にまとめる d:比喩表現について理解する。 e：漢字や語句、文体の特色を理解している。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査
二学期（前半）	評論・韻文	他者を理解するということ ものとことば サーカス 詩・俳句	○	○	○	○	○	a:内容に興味・関心を持っている。また、現代の韻文に興味関心を持ち積極的に味わおうとしている。 b: 本文の音読を通して、文章構成を把握し、論旨を的確に把握している。 c:内容を正確にまとめている。自分で作品を作る。 d:評論に多用される表現を理解する。また、韻文の鑑賞のしかたを習得し、作品の展開を理解してイメージを読み取る。 e：漢字や語句、文体の特色を理解したり、分かりにくい言葉・表現を辞書で調べたりしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査
二学期（後半）	小説・評論	城崎にて 時間と自由の関係について	○	○	○	○	○	a:生と死について考察を深めようとしている。内容に興味・関心を持っている。 b: 本文の音読を通して、登場人物の人物像の理解や文章構成、論旨を的確に把握している。 C:内容を正確にまとめている。 d:私小説の特徴について理解している。評論に多用される表現を理解する。 e：漢字や語句、文体の特色を理解したり、分かりにくい言葉・表現を辞書で調べたりしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査

三学期	小説・評論	富嶽百景 動的平衡の回復	○	○	○	○	○	a:内容に興味・関心を持っている。作者の他の作品や本文採録箇所以外や関連の文章を読むなど理解を深めようとしている。 b: 考えをまとめ、発表する。本文の音読を通して、具体例と主張との関係を整理し、論理構成を把握している。 c: 内容の詳述や読んで考えたことを自分の言葉でまとめ表現している。 d: 表現の特徴や効果について理解し、夢の話としての特徴がどういう点に表れているか理解している。また、指示語について正しく理解している。 e：漢字や語句、文体の特色を理解したり、分かりにくい言葉・表現を辞書で調べたりしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査
一学期（前半）	古文入門	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	○			○	○	a:古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。 d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e:歴史的仮名遣いについて理解し、本文を正しく音読できる。用言について理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査
一学期（後半）	物語	『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」	○			○	○	a:歌物語を読んで、古文に親しもうとしている。 d: 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e:和歌の修辞を理解する。助動詞について学習する。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査
二学期（前半）	随筆・漢文・故事成語	『徒然草』 「丹波に出雲といふ所あり」 漢文入門一・二 「狐借虎威」 「朝三暮四」	○			○	○	a: 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取ろうとしている。また、漢文に親しみ、故事成語のもとになった故事や逸話に関心をもつ。 d: 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。また、平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 e:助動詞を中心に文法事項への理解を深める。また、漢文訓読の基本事項の理解し、句形の読み方と意味を理解している。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査

二学期（後半）	日記・史伝	『土佐日記』 「門出」 「帰京」 「管鮑之交」 「鶏口牛後」	○			○	○	a:日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取ろうとしている。また史伝の特徴的な表現を味わおうとしている。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。また、中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。 e:助詞、助動詞の識別についての理解を深める。また、比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト定期考査
三学期	物語・漢詩	『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」 「天人の迎へ」 『平家物語』 「木曽の最期」 唐詩	○			○	○	a:昔話としてなじみのある作品や武士の栄枯盛衰が描かれている作品を読み、古文に親しもうとしている。また、唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 d:　文章の内容を構成や展開に則して的確に捉える。また、中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているのかを考える。 e:用言を中心に文法事項への理解を深める。また、漢詩のきまりについて理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。